

# 日本文学とその周辺

龍谷大学仏教文化研究叢書33

大取 一馬 編

2014年9月刊行

▶ A5判・624頁／定価：本体 8,400円(税別) ISBN978-4-7842-1771-7

龍谷大学仏教文化研究所の研究者陣による、「龍谷大学図書館蔵中世歌書の研究」(平成23～25年度の指定研究)の研究・調査の過程で問題になった諸点や、温めてきた問題の論文を三部構成にまとめた一書。時代や分野が異なった専門領域をもつ各研究員により、研究テーマの和歌文学にとどまらず、多岐にわたる内容の論文を収録。

## 内容目次

### 第1部 文学篇

日本仏教と文学 石原清志(元龍谷大学名誉教授・神戸女子大学名誉教授)

「草の庵を誰かたづねむ」小考 若生 哲(龍谷大学仏教文化研究所客員研究員)

『源氏物語』玉鬘十帖における紫の上の位置づけ  
——錯綜するまなざしに着目して—— 櫛井亜依(愛知淑徳大学常勤講師)

『俊頼髓脳』の異名 鈴木徳男(相愛大学人文学部教授)

『嘉応二年十月九日住吉社歌合』伝本と本文考 安井重雄(兵庫大学教授)

三百六十番歌合の式子内親王歌の世界——後鳥羽院撰者説をふまえて—— 小田 剛(龍谷大学仏教文化研究所客員研究員)

藤原良経「吉野山花のふる里」考 小山順子(国文学研究資料館研究部総合研究大学院大学准教授)

源氏物語「奥入」における定家の「引歌」意識について 大取一馬  
土御門院の句題和歌——『文集百首』を通して—— 岩井宏子(龍谷大学仏教文化研究所研究員)

後世における『沙石集』受容の在り方と意義  
——「思潮」としての『沙石集』—— 加美甲多(同志社国際中学校・高等学校嘱託講師)

『源平盛衰記』と聖徳太子伝 浜畑圭吾(高野山大学助教)

——巻第十一「守屋成啄木鳥事」と巻第二十一「聖徳太子椋木」を中心に——  
常縁原撰『新古今集開書』から幽斎増補本への道程 近藤美奈子(甲南女子大学非常勤講師)

不産女地獄の表現史——差別と救済の思想—— 田村正彦(大東文化大学非常勤講師・明治大学兼任講師)

「李陵」考——表現等を巡って—— 齋藤 勝

### 第2部 書誌・出版篇

『和歌題林抄』古筆切の検討(続) 日比野浩信(愛知淑徳大学非常勤講師)

仏教と坊刻本仏書 万波寿子(龍谷大学非常勤講師)

大田垣蓮月尼と平井家の交流について  
——醍醐寺の旧坊官家宛書簡をめぐる—— 山本廣子(家族問題情報センター相談員)

### 第3部 歴史・思想篇

古代尺よりみたわが上代文物——薬師寺について—— 關根真隆(元聖徳太子奉賛会研究生・宮内庁正倉院事務所保存課長)

藤原道長の高野山・四天王寺参詣の道程 内田美由紀(大阪府立三國丘高等学校教諭)

佛光寺本『善信聖人親鸞伝絵』の神祇記述について  
——付加された理由と役割—— 吉田 唯(兵庫大学短期大学部非常勤講師・高野山大学密教文化研究所受託研究員)

地下伝授の相承と変容——墨流斎宗範—— 三輪正胤(大阪府立大学名誉教授)

おひとり・かづま…1947年生、龍谷大学大学院文学研究科博士課程単位取得退学、現在、龍谷大学文学部教授、『新勅撰和歌集古注釈とその研究』上・下(思文閣出版、1986年、編著)、『詞源略注』(古典文庫、1984年、編)、龍谷大学善本叢書31『中世歌書集』(思文閣出版、2013年、編)など

## 思文閣出版

〒605-0089 京都市東山区元町355 tel.075-751-1781 fax.075-752-0723  
http://www.shibunkaku.co.jp E-mail:pub@shibunkaku.co.jp

注文票

発行：思文閣出版

(京都 取引コード 3402)

冊数	冊	日本文学とその周辺	本体 8,400円(税別)	ISBN978-4-7842-1771-7
お名前		tel		
		e-mail		
ご住所	〒			
送本方法	<input type="checkbox"/> 書店経由 (このちらしを書店にお渡し下さい) <input type="checkbox"/> 代引 (書籍代+送料400円を現品と引き替えにお支払い)			

本書HPのQRコード

書店番線印

## 典籍と史料

大取一馬編

龍谷大学仏教文化研究叢書28

1961(昭和36)年、親鸞聖人大遠忌記念事業の一環として開設された、龍谷大学仏教文化研究所の研究者陣による、真宗学・仏教学・史学・国文学等の分野にまたがる広汎な仏教文化の最新研究成果。

【内容】『伊勢物語』業平時代の成立について／『統詞花集』考一『千載集』との比較をめぐって／社頭歌合の歌題構成と位署／和歌における『和漢朗詠集』の受容／式子内親王歌の本質／『頭注密勘』古筆切管見／西光と地蔵菩薩—神宮文庫本『沙石集』の生成／『沙石集』諸本異同から見た梵舞本文特性／古代尺よりみた法隆寺遺宝／後鳥羽院の新古今撰集について—『源家長日記』の関連記事を中心に／『教行信証』「信巻」逆誘撰取について／龍谷大学図書館禿氏文庫蔵『興福寺奏達状』について 他

▶A5判・686頁／本体8,500円(税別)

ISBN978-4-7842-1592-8

## ※日本古典随筆の研究と資料

糸井通浩編

龍谷大学仏教文化研究叢書19

龍谷大学図書館が所蔵している、日本の古典随筆に関する伝写本を悉皆調査した研究プロジェクト「古典随筆伝写本の研究」の成果。

『枕草子』『徒然草』雨森芳洲『交隣提醒』についての研究論文7篇に加え、重要と思われる古典随筆伝写本5本を翻刻紹介する。

【研究編】『枕草子』耳伝／『枕草子』格子考／『枕草子』「三月ばかり物忌しにとて」段の構成意識／『枕草子』の語法／龍谷大学蔵徒然草伝写本について／徒然草の近代／雨森芳洲『交隣提醒』

【資料編】龍谷大学本『枕草子』(零本)翻刻・解題／龍谷大学図書館所蔵『徒然草 平忠重伝写本』翻刻／龍谷大学図書館蔵『たはれ草』翻刻／『たはれ草』諸本の校合／龍谷大学本『四季物語』翻刻・解題

▶A5判・482頁／本体7,200円(税別)

ISBN978-4-7842-1349-8

## ※中世の文学と学問

大取一馬編

龍谷大学仏教文化研究叢書15

中世の文学や学問の特質の一端を考察し明らかにする。

【内容】中世歌学秘伝の変容—雲伝神道の中で／木戸家流藤川百首注について—周桂抄所引正吉抄と京都女子大学蔵藤川百首注二本／洞門抄物とそのことば／龍谷大学図書館蔵『俊頼口伝集』について／室町時代の句題和歌—永正三年五月四日杜甫句題五十首について／枕草子の時空間—『古今集』撰取の一解釈として／『夜の寝覚』における女君の行為「ふす」／章綱物語と増位寺—延慶本平家物語生成考／女の日記に見る信仰のかたち—中古・中世の日記から／足利將軍邸の蔵書／中世末期から近世初期にかけての十三代集本文について—兼右本・雅章本の奥書・識語を手がかりに／架蔵短冊資料点描／「下絵百人一首注」翻刻と解題 他

▶A5判・492頁／本体8,400円(税別)

ISBN4-7842-1271-X

## 中古中世和歌文学論叢

大取一馬編

龍谷大学仏教文化研究叢書9

四十人集(龍谷大学図書館蔵写字台文庫旧蔵)を調査・研究する過程において各執筆者が新たに見出した研究テーマ—歌論書や歌合判詞、私家集、私撰集、古筆切など—をとおして、中古中世の和歌の理念や特質、古代和歌受容の問題、さらには作品の成立や解釈にかかわる問題、新出資料の価値や散佚私家集を解明する問題に取り組む。

【内容】定家の「観念」／中世歌論書の万葉歌受容考／藤原盛方の伝記と和歌—散佚私家集研究の一環として／『類題』『新類題』の成立とその撰集資料／『伊勢物語』初段に対する中世と近世の理解—現代訳注本見直しのための試論／「散る別れこそ悲しかりけれ」—西行の花に寄せる心／中世古筆切点描—架蔵資料の紹介(二)／『小馬命婦集』の和歌について／『六百番歌合』の「よき持」について

▶A5判・300頁／本体7,800円(税別)

ISBN4-7842-0983-2

## 中世歌書集

龍谷大学善本叢書31

大取一馬責任編集

龍谷大学図書館所蔵、写字台文庫(西本願寺歴代宗家が収集した文庫で、仏教、真宗をはじめ芸能、本草学、医学、文学、歴史の多岐にわたる)、室町期にまでさかのぼる古刊本や古写本等のコレクション)旧蔵の歌書のうち、天下の孤本や最古の写本、内容上意義深いものなど貴重書と認められる5点の典籍を選び影印公刊し、解説を付す。

▶A5判・650頁／本体13,300円(税別)

ISBN978-4-7842-1688-8

## 俊頼髓腦の研究

鈴木徳男著

『俊頼髓腦(としよりずいのう)』は、源俊頼の著した平安後期の歌学書である。豊富な内容はのちの歌論や説話集に多大な影響を与えた。本書は、先行歌書や歌学的知見の受容という観点からその構造を分析、さらに享受面を考察し、『俊頼髓腦』の和歌史的意義を浮き彫りにしたものである。付録として伝本の性格を検討した二論を加える。

▶A5判・300頁／本体8,000円(税別)

ISBN4-7842-1296-5

## 禁裏本歌書の歳書史的研究

酒井茂幸著

禁裏本の総体を歳書群として捉え、同時代の公家日記や古歌書目録類を援用しつつその伝来の歴史を跡付ける。また、禁裏における歌学や古典文学の注釈・講釈に注目し、古典学の変遷を叙述する。中世後期以降、歴代天皇がどのような歌書を求め、書写し、収蔵していったかを明らかにする。

▶A5判・344頁／本体5,600円(税別)

ISBN978-4-7842-1483-9

## 名庸集 影印と解題 [全三巻]

中本大編

寛永文化の根本史料『隔葉記』にその記述がみられる幻の史料『名庸集』。本書は信多純一氏(志水文庫)旧蔵本の全丁とあわせて、『名庸集』の一部であった『燈分集』(国立国会図書館所蔵)の影印を収録し、中世から近世初期にいたる文学史・歴史・美術史などの研究に資する。また、第3巻には編者による詳細な解題を収録する。

▶A5判・1,282頁／本体38,000円(税別)

ISBN978-4-7842-1708-3

## 実国・師光全歌注釈

小田剛著

千載・新古今歌人の一人である藤原実国(1140年-1183年)、源師光(生没年未詳)の全歌注釈を試みる。歌(及び詞書など)の本文については、実国集「神宮文庫蔵本」、師光集「三手文庫蔵本」などによった。注釈は、校異、語注、(口語)訳、本歌・本説、補説・参考事項、参考(歌)、類歌を掲載。

▶A5判・606頁／本体18,000円(税別)

ISBN978-4-7842-1478-5

## 高野山正智院連歌資料集成 [全2冊]

正智院監修

高野山正智院経蔵史料集成四・五

平安時代創建の学侶方宝門の筆頭寺院であり、貴重な仏像、仏画、典籍などを多数所蔵している名刹・高野山正智院。本書は、すでに発刊している経蔵史料集成一(正智院文書)および同集成二・三(正智院聖教目録上・下)(いずれも吉川弘文館刊)に続いて、当院に伝わる未発表の連歌資料の優品を影印本として刊行。

▶A5判・856頁／本体20,000円(税別)

ISBN978-4-7842-1690-1

## 増補 蓮月尼全集

村上素道編

幕末・明治の歌人大田垣蓮月は、二度結婚するも夫の放蕩や病死、子どもの夭折など恵まれず、33歳で出家の後隠棲生活を送ることになる。本書は、蓮月の歌・消息・伝記を収めた『蓮月尼全集』(昭和2年)に、新たに発見された歌集、書面帖(花くらべ)、消息53通を増補した昭和55年版の復刊。

▶A5判・770頁／本体12,000円(税別)

ISBN4-7842-0182-3

## 源平の時代を視る

二松学舎大学学術叢書

二松学舎大学附属図書館所蔵 奈良絵本『保元物語』磯水絵・小井土守敏・小山聡子編 『平治物語』を中心に二松学舎大学附属図書館蔵の奈良絵本『保元物語』『平治物語』の公開促進をはかる研究の軌跡と成果。

【内容】二松学舎大学附属図書館所蔵の奈良絵本『保元物語』『平治物語』について／二松本『保元物語』挿絵についての一考察 他

▶A5判・278頁／本体4,800円(税別)

ISBN978-4-7842-1735-9

インタビュー・エッセイや新刊情報を掲載した広報誌『鴨東通信』を年4回無料でお送りしています。  
電話・fax・Eメールでお申し込み下さい。※印の書籍は外函・カバーに汚れ・傷みがございます。